

行事の紹介

クリスマス会



美山通所介護サービスセンターでは、ご利用者様の心身機能の維持向上を目的として、季節に応じた様々なレクリエーションや創作活動を実施しています。

12月は、クリスマスに向けてリース

作りを実施いたしました。ご利用者様自身でリースの色や飾りを選び、手先を動かしながら、職員や他のご利用者様と交流を楽しみながら作成いたしました。ご自宅の玄関用や、ご家族様へのプレゼントとして作られているご利用者様もいました。

また、クリスマス週間には恒例のクリスマス会を実施いたしました。当日はビンゴ大会で景品のプレゼントや、手作りおやつ作りで少人数ごとにてケーキ作りを楽しみました。

美山ホームデイサービスでは、「楽しい!」「また来たい!」と感じていただけのような企画を今後もご用意して参ります。

新年祝賀会



新しい年を迎え、養護では、服装を整え新年祝賀会に出席しました。阿部会長・濱岡施設長より年頭のご挨拶

を申し上げ、芙蓉会会長(養護入居者代表)にも新年の挨拶をしていただき、お節料理を堪能し喜ばれていました。

午後には、一階フロアに集まり、皆様が大好きな歌謡曲や演歌などのイントロクイズを行い、大いに盛り上がりを見せました。その後、正月ならではの「おみくじ」を一人ずつ引いて頂き、運勢によって景品が当たるゲームを行い、笑顔が多く見られ、お仲間と楽しい一時を共有でき、新年の良いスタートを切る事が出来ました。

節分



今年の節分でも、ご入居者の「鬼は外!」とかけ声は普段より大きく、豆を投げる腕は普段より鋭く、そうしたご入居者の活気ある場の空気に、「えー!そんなに元気でしたか!」と驚く職員の歓声も混ざり大賑わいでした。

節分は、「みんなが健康で幸せに過ごせますように」という意味をこめて、悪いものを追い出す日といえます。鬼役をした職員はもちろん悪い人でありませんが、追い出されたりはしていませんが、「心のどこかにある悪い気持ちを払ってもらった気がする」と話していました。

また、昼食には恵方巻などの行事食が提供され、そのお食事でもまた季節の節目のご馳走となり、巻物を頬張るみなさまは健康そのものでした。

桃の節句



3月3日 日桃の節句(ひな祭り)当日、海鮮ちらし寿司をはじめとした行事食や甘酒、桜餅が提供され、ご入居者の皆様が喜ばれ、笑顔で召し上がっていました。

「桃の節句」は、旧暦の3月3日の頃に桃の花が咲くことや、桃は魔除けの効果を持つとされてきたからという説があります。雛人形には、娘の厄を引き受ける役目があるため、災いがふりかからず、美しく成長して幸せな人生を送れるようにという願いが込められているそうです。

節句に提供される食事の献立もそれぞれに健康や厄除け、縁結びなどの意味あいがあります。ご存知でしたでしょうか。

美山ホームでは今年もA棟のロビーに3段の立派な雛飾りが飾られ、一目見ようと訪れるご入居者の皆様のみなならず、行き交うデイサービス利用者や来客の方、働く職員の気持ちをつかんでいました。ご入居者の生活フロアでも手作りの吊るし雛などで彩られ、それを見ては自分の小さい頃のひな祭りを思い起こす方、または子の世代へ、孫の世代へ、ひ孫の世代へ、と人生のステージそれぞれ思い出を語る方も少なくなく、そうした姿もまたこの節句の情景のように思えました。